

選択教科美術科学習指導案

指導者 小原久美子

1 日時 平成16年9月8日(水)5校時

2 コース 2年選択 美術 男子8名 女子11名 計19名

3 主題 木彫工芸

4 主題について

本題材は、授業時間削減により必修時間内に取り組むことが難しい題材の中から、生徒の興味関心を考慮して設定した。

一年時の必修美術では絵文字のデザイン、粘土彫刻(塑造)、絵画(鉛筆デッサン)に取り組んでおり、今回扱う木彫工芸は生徒にとって中学校では初めての題材である。

鉛筆デッサンの学習で対象の特徴や美しさなどをとらえる力、絵文字のデザインで自分の表したい感じを大切に表現方法を工夫する力などを培ってきたが、その内容ををもとに、使用する者の気持ちや機能などから独創的に発想し、造形的な美しさ

材料や用具の生かし方などを総合的に考え、創意工夫して作る力を身につけさせたい。

5 生徒について

選択美術の受講者は19名であるが、事前希望調査によると第1希望は4名だけである。木彫工芸は必修の授業で扱ったことのない題材のため、大部分の生徒が興味を持って取り組んでいるが、教え合いから私語につながるなど、集中力に欠ける場面が時折みられる。また、技能的な面や粘り強く創意工夫する姿勢にもかなりばらつきが見られるので、それぞれの力量にあった図柄を考えさせたり、モチーフに対するこだわりを何度も繰り返し確認するなど、個に応じた指導を心掛けたい。

6 主題の指導構想

はじめに共通課題に取り組むことによって浮き彫りの基本的技能を確実に身につけ

その後応用として小箱、手鏡、筆箱、壁掛けの中から制作するものを選択し、図柄のデザインに取り組ませる。

今回の題材では、浮き彫りの基本的技能を身につけさせるとともに、作品制作を通じて何を表現したいのか、そのためにはどのような表現手段が適しているのかを常に考えながら制作させることによって、個性の伸長を図りたい。

自分の作品にこだわりをもって制作するとともに、教え合いの場面や中間鑑賞会な

ど、他者の作品を鑑賞したりアドバイスを受ける場面を多く設定することにより、表現意図を相手に伝えるために自己の作品を客観的にみながら制作できるようにしたい。

7 目標

- ・ 浮き彫りの基本的技能を身につけることができる
- ・ 自分なりのこだわりを持ってモチーフを選択し、表現意図に合わせて創意工夫して作品を制作することができる。

8 評価規準

[美術への関心・意欲・態度]

- ・ 木彫工芸のよさや美しさに関心を持ち、制作活動に楽しく真剣に取り組もうとする。

[発想や構想の能力]

- ・ 浮き彫りの特性、用途を考え、感性を働かせて豊かに発想し、こだわりを持ってモチーフを決定し、どのように表現するのかを考えることができる。

[創造的な技能]

- ・ 浮き彫りの基本的技能を身につけることができる。

[鑑賞の能力]

- ・ 友達の作品を鑑賞し、表現意図やそのための工夫を感じ取り、評価し合うことができる。

9 主題の指導計画

別紙「コース別指導計画」参照。本時16時間目。

10 本時の指導

(1) 本時の到達目標

- ア 自分の意図にあった仕上げの方法を考えることができる。
- イ 仕上げの方法を理解し、丁寧に仕上げることができる。

(2) 本時の指導構想

自分の意図に応じた仕上げの方法を考え、班内で意見交換をし、仕上げの方法を決定し、仕上げを行う。

(3) 本時の評価の観点

- ア 自分の意図にあった仕上げの方法を考えることができたか。
- イ 仕上げの方法を理解し、丁寧に仕上げることができたか。

11 本時の展開

段階	教師の働きかけ / 教材・教具	過程	生徒の学習活動	指導・支援の留意点 () 評価 ()
----	--------------------	----	---------	-------------------------

導 入 3 分	1 前時で学習した内容を想起させる / 学習の手引き 参考作品提示 / 透明ニス、着色ニス、 着色塗装の作品	課 題 把 握	1 前時で学習した内容を 思い出す ・ 塗装の意味 ・ しあげの違いによる効 果の違い	生徒の発言により想起 させる
	2 仕上げたい方法につ いて発表させる 3 本時の学習内容を把 握させる / 紙板書		2 仕上げたい方法につ いて発表する 3 本時の学習内容を把握 する	挙手がない場合は指名
自分の意図にあった仕上げの方法を考えよう				
展 開 4 4 分	4 表現意図に合った仕 上げについて考えさせ る / 学習カード 5 班ごとに相談させな がら、自分の意図にあ った仕上げの方法を考 えさせる 6 仕上げの方法につい て、理由・表現意図と ともに発表させる 7 仕上げの方法別にグ ループを作らせ、仕上 げを行わせる	課 題 追 求	4 表現意図に合った仕上 げについて考え、カード に記入する 5 班ごとに相談しなが ら、自分の意図にあっ た仕上げの方法を考 える 6 仕上げの方法につい て、理由・表現意図と ともに発表する 7 仕上げの方法別に集ま り、仕上げを行う	机間巡視 る で相談に応じ 挙手がない場合は指名 自分の意図にあった仕 上げの方法を考えるこ とができたか 制作に入る前にニス塗 り及び着色塗装の注意 点を想起させる 仕上げの方法を理解し、 丁寧に仕上げることが できたか
終 末 3 分	8 本時の評価と感想 を記入させる / プリント 9 次時の予告をする	ま と め	8 本時の評価と感想を記 入する 9 次時の内容を把握する	本時の評価と感想を記入 することができたか

評価規準表 2年選択 美術

時 数	到達目標	具体の評価規準			
		美術への関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
2	彫刻刀の使い方及び、浮き彫りの方法を理解することができる	教師の話を聞き、制作に取りか ることができる A 積極的に制作に取りかか ることができる B 制作に取りかかることが できる		切り出し刀を正しい持ち方で持 ち、図柄を仕切ることができる A 切り出し刀を正しく持ち、 図柄を全て仕切ることができ る B 切り出し刀を正しく持ち、 図柄を仕切ることができる	
3	浮き彫りの技法を使って練習用 の図柄を彫ることができる (片切り彫り中心)	安全に留意して真剣に制作に取 り組むことができる A 真剣かつ積極的に制作に取 り組むことができる B 真剣に制作に取り組むこと ができる		片切り彫りで図柄を彫ることが できる A 片切り彫りで美しく図柄を 彫ることができる B 片切り彫りで図柄を彫るこ とができる	
4	浮き彫りの技法を使って練習用 の図柄を彫ることができる (片切り彫り中心)	安全に留意して真剣に制作に取 り組むことができる A 真剣かつ積極的に制作に取 り組むことができる B 真剣に制作に取り組むこと ができる		浮き彫りができる深さまで片切 り彫りで彫り出すことができる A 必要な深さまで美しく片切 り彫りで彫り出すことができ る B 必要な深さまで美片切り彫 り彫りで彫り出すことができ る	

5	浮き彫りの技法を使って練習用の図柄を彫ることができる	安全に留意して真剣に制作に取り組むことができる A 真剣かつ積極的に制作に取り組むことができる B 真剣に制作に取り組むことができる		切り出し刀を使い、浮き彫りの技法で立体的に彫り出すことができる A 各パーツの重なりを意識しながら立体的に彫り出すことができる B 立体的に彫り出すことができる	
---	----------------------------	--	--	--	--

時数	到達目標	具体の評価規準			
		美術への関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
6	浮き彫りの技法を使って練習用の図柄を仕上げることができる	安全に留意して真剣に制作に取り組むことができる A 真剣かつ積極的に制作に取り組むことができる B 真剣に制作に取り組むことができる		全体のバランスを考えながら浮き彫りの技法で立体的に仕上げることができる A 立体的に美しく仕上げることができる B 立体的に仕上げることができる	

7	<p>・自分が制作したいものを選ぶことができる</p> <p>・浮き彫りの特色を生かし、使う場面にあった図柄を考えることができる</p>	<p>自分が制作したいものを選ぶことができる</p> <p>A 使用する場面を想定し、積極的に制作したいものを選ぶことができる</p> <p>B 制作したいものを選ぶことができる</p> <p>自分が制作したいモチーフを選ぶことができる</p> <p>A 意欲的にこだわりを持ってモチーフを選ぶことができる</p> <p>B 浮き彫りに適したモチーフを選ぶことができる</p>	<p>浮き彫りの特性を生かしたモチーフを選び、使う場面にあった図柄を考えることができる</p> <p>A 浮き彫りの特性を生かしたモチーフを選び、使う場面にあった図柄を2種類以上考えることができる</p> <p>B 浮き彫りの特性を生かしたモチーフを選び、使う場面にあった図柄を考えることができる</p>	<p>資料を見ながらスケッチをすることができる</p> <p>A 資料を見ながら克明にスケッチをすることができる</p> <p>B 資料を見ながらスケッチをすることができる</p>	
8	<p>アイデアスケッチをもとに、丁寧に下絵を描くことができる</p>	<p>教師の説明を聞き、真剣に下絵を描くことができる</p> <p>A 教師の説明を聞き、工夫を凝らそうしながら真剣に下絵を描くことができる</p> <p>B 教師の説明を聞き、真剣に下絵を描くことができる</p>	<p>アイデアスケッチをもとに、丁寧に下絵を描くことができる</p> <p>A アイデアスケッチをもとに浮き彫りしやすいよう省略やデフォルメを施した下絵を丁寧に描くことができる</p> <p>B アイデアスケッチをもとに、丁寧に下絵を描くことができる</p>		

時数	到達目標	具体の評価規準			
		美術への関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力

9	<p>・友達の下絵を鑑賞し、よさを味わうことができる</p> <p>・自分の作品を見直し、下絵を完成させることができる</p>	<p>目的意識を持って真剣に鑑賞会に参加することができる</p> <p>A 目的意識を持って真剣に鑑賞会に参加し、積極的に発表することができる</p> <p>B 目的意識を持って真剣に鑑賞会に参加することができる</p>	<p>自分の作品を見直し、下絵を完成させることができる</p> <p>A 自分の作品を見直し、他者の感想を自分の作品に生かし、下絵を完成させることができる</p> <p>B 自分の作品を見直し、下絵を完成させることができる</p>		<p>友達の下絵を鑑賞し、よさを味わうことができる</p> <p>A 友達の下絵を真剣に鑑賞し、感じたこととアドバイスを具体的に書くことができる。</p> <p>B 友達の下絵を鑑賞し、よいところを書くことができる</p>
10	<p>カーボン紙を使い、丁寧に転写することができる</p> <p>浮き彫りの効果を考えて、丁寧に彫ることができる</p>	<p>安全に留意して真剣に制作に取り組むことができる</p> <p>A 真剣かつ積極的に制作に取り組むことができる</p> <p>B 真剣に制作に取り組むことができる</p>		<p>カーボン紙を使い、丁寧に転写することができる</p> <p>A カーボン紙を使い、位置や形を間違えずに丁寧に転写することができる</p> <p>B カーボン紙を使い、丁寧に転写することができる</p> <p>切り出し刀を正しい持ち方で持ち、図柄を仕切ることができる</p> <p>A 切り出し刀を正しく持ち、図柄を全て仕切ることができる</p> <p>B 切り出し刀を正しく持ち、図柄を仕切ることができる</p>	

11	浮き彫りの効果を考えて、丁寧に彫ることができる	安全に留意して真剣に制作に取り組むことができる A 真剣かつ積極的に制作に取り組むことができる B 真剣に制作に取り組むことができる		浮き彫りができる深さまで片切り彫りで彫り出すことができる A 必要な深さまで美しく片切り彫りで彫り出すことができる B 必要な深さまで美片切り彫り彫りで彫り出すことができる	
----	-------------------------	--	--	--	--

時数	到達目標	具体の評価規準			
		美術への関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
12	浮き彫りの効果を考えて、丁寧に彫ることができる	安全に留意して真剣に制作に取り組むことができる A 真剣かつ積極的に制作に取り組むことができる B 真剣に制作に取り組むことができる		切り出し刀を使い、浮き彫りの技法で立体的に彫り出すことができる A 各パーツの重なりを意識しながら立体的に彫り出すことができる B 立体的に彫り出すことができる	
13	浮き彫りの効果を考えて、丁寧に彫ることができる	安全に留意して真剣に制作に取り組むことができる A 真剣かつ積極的に制作に取り組むことができる B 真剣に制作に取り組むことができる		全体のバランスを考えながら浮き彫りの技法で立体的に仕上げることができる A 立体的に美しく仕上げることができる B 立体的に仕上げることができる	

14	仕上がりを考えながら、丁寧に磨くことができる	教師の説明を聞き、真剣に制作に取り組むことができる A 教師の説明をよく聞き、紙ヤスリの使い方を理解して意欲的に制作することができる B 教師の説明を聞き、意欲的に制作することができる		全体のバランスを考えながら丁寧に磨くことができる A 全体のバランスを考えながら仕上がりの段階に応じて紙ヤスリの荒さを変え、丁寧に磨くことができる B 全体のバランスを考えながら丁寧に磨くことができる	
15	仕上げの方法を理解し、練習用の作品を仕上げることができる	教師の説明を聞き、真剣に制作に取り組むことができる A 教師の説明をよく聞き、仕上げの方法を理解して真剣かつ積極的に制作に取り組むことができる B 教師の説明を聞き、真剣に制作に取り組むことができる		仕上げの方法を理解し、練習用の作品を仕上げることができる A 意図に応じてニス塗りの回数を決め、丁寧に練習用の作品を仕上げることができる B 丁寧に練習用の作品を仕上げることができる	
時 数	到達目標	具体の評価規準			
		美術への関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力

16	<p>意図にあった仕上げの方法を考え、丁寧に仕上げることができる</p>	<p>積極的に話し合いに参加し、仕上げの方法を考えることができる</p> <p>A 積極的に話し合いに参加し、意図に合った仕上げの方法を考えることができる</p> <p>B 話し合いに参加し、仕上げの方法を考えることができる</p> <p>真剣に制作に取り組むことができる</p> <p>A 真剣かつ積極的に制作に取り組むことができる</p> <p>B 真剣に制作に取り組むことができる</p>	<p>意図にあった仕上げの方法を考えることができる</p> <p>A 仕上げの違いによる効果の違いを考慮し、意図にあった仕上げの方法を理由を明確にしながら決定することができる</p> <p>B 仕上げの違いによる効果の違いを考慮し、意図にあった仕上げの方法を決定することができる</p>	<p>仕上げの方法を理解し、全体のバランスを考えながら作品を仕上げることができる</p> <p>A (着色塗装：意図に応じた配色を考え、丁寧に着色し) 全体のバランスを考えながら意図に応じてニス塗る回数を調節し、丁寧に作品を仕上げることができる</p> <p>B (着色塗装：意図に応じた配色を考えて着色し) 全体のバランスを考えながら丁寧に作品を仕上げることができる</p>	
17	<p>お互いの作品を鑑賞し、よさを味わうことができる</p> <p>今までの制作を振り返り、まとめることができる</p>	<p>目的意識を持って真剣に鑑賞会に参加することができる</p> <p>A 目的意識を持って真剣に鑑賞会に参加し、積極的に発表することができる</p> <p>B 目的意識を持って真剣に鑑賞会に参加することができる</p> <p>今までの制作を振り返り、まとめることができる</p> <p>A 今までの制作を振り返り、成果と課題を具体的にまとめることができる</p> <p>B 今までの制作を振り返り、まとめることができる</p>			<p>制作意図を知ったで作品を鑑賞し、よさを味わうことができる</p> <p>A 真剣に友達の発表を聞きながら作品を鑑賞し、感じたことを具体的にあげることができる。</p> <p>B 友達の発表を聞きながら作品を鑑賞し、感じたことをあげることができる。</p>

